

三菱UFJフィナンシャル・グループ 株主の皆さまへ

第3期中間期(平成19年4月1日~平成19年9月30日)



Quality for You 
MUFG

リース

三菱UFJリース
東銀リース
日本ビジネスリース

カード・信販・消費者金融

三菱UFJニコス
菱信ディーシーカード
アコム
DCキャッシュワン
モビット

地方銀行

泉州銀行
中京銀行
岐阜銀行
大正銀行

システム

三菱総研DCS
UFJIS
UFJ日立システムズ
ダイヤモンド・ビジネス・エンジニアリング

調査・コンサルティング

三菱UFJリサーチ&コンサルティング
三菱アセット・ブレインズ
三菱UFJトラスト投資工学研究所

確定拠出年金

日本確定拠出年金コンサルティング

ファクタリング

三菱UFJファクター

ベンチャーキャピタル

三菱UFJキャピタル
MUハンズオンキャピタル



MUFG

三菱UFJフィナンシャル・グループ

三菱東京UFJ銀行
三菱UFJ信託銀行
三菱UFJ証券

外貨両替

東京クレジットサービス
(ワールドカレンシーショップ)

債権管理・回収

エム・ユー・フロンティア債権回収

ファイナンス

東京合同ファイナンス
日本住宅無尽

ウェルスマネジメント

三菱UFJウェルスマネジメント証券
三菱UFJメリルリンチPB証券
三菱UFJ個人財務アドバイザーズ

不動産仲介

三菱UFJ不動産販売

資産管理

日本マスタートラスト信託銀行

証券代行

日本シェアホルダーサービス

ネット証券

カブドットコム証券

ネット決済

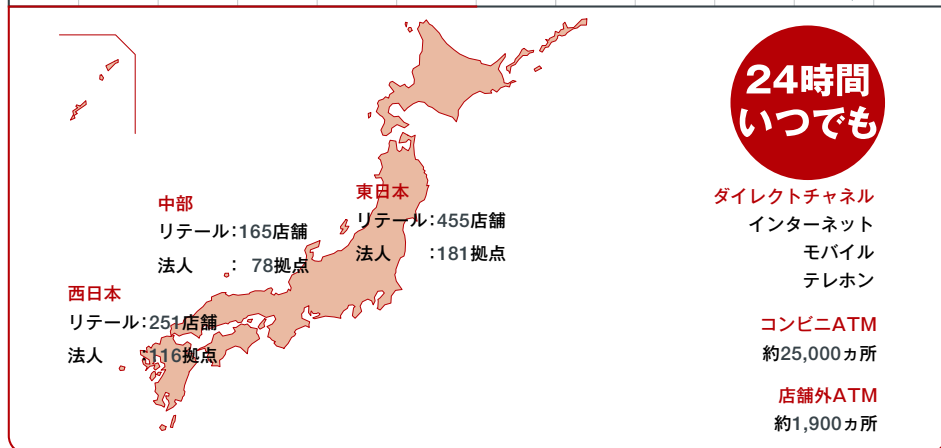
ペイジェント

資産運用

三菱UFJ投信
国際投信投資顧問
MU投資顧問

海外

Union Bank of California
三菱UFJセキュリティーズ
インターナショナル
BTMUキャピタル・
コーポレーション



注：リテール… 出張所を含む本支店。銀行、信託銀行は振込専用支店などのバーチャル店舗、ローン推進出張所、代理店などを除く。
 証券はお客さま向けカウンターを持たない営業拠点を除く。
 法人…… 「法人営業オフィス」を含む。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第三期中間期の「株主の皆さまへ」の巻頭にあたり、私からご挨拶させていただきます。

平成十九年度中間期の業績について

平成十九年度中間期の連結当期純利益は、前中間期比約二千五百億円減少し二千五百六十七億円となりました。これは、システム統合コスト等の営業費増加により業務純益が減益となったことに加え、貸倒引当金の戻入益が大幅に減少したことを主な要因として与信関係費用総額が増加したことなどによるものです。なお、市場の関心を集めている、いわゆるサブプライムローン関連の商品に対する投資からの損失は、約四十億円にとどまりました。

米国のサブプライムローン問題で不安定となっている市場の動向については、しばらくは注視を要する状況が続くものと思われませんが、金利上昇に伴う預貸金利回り差の拡大や総預かり資産残高の増加など、収益向上のベースとなる事業環境の基調は、引き続き改善しております。

経営戦略について

MUFグループでは、リテール・法人・受託財産を「主要三事業」と位置づけ、これらの分野を中心に

成長戦略を展開しています。なかでも、リテール部門においては、「貯蓄から投資へ」の流れが進むなか、MUFグループでは、幅広い金融商品を取り揃えお客さまの利便性向上に努めるとともに、金融商品取引法への的確な対応を含め、これまで以上にお客さまに安心してお取り引きいただける態勢を構築してまいります。

法人部門においては、本年九月に完全子会社化した三菱UFJ証券を活用しながら、お取引先の課題解決に向けた提案から資金調達までをサポートする投資銀行ビジネスに注力していきます。また、引き続き高い成長が見込めるアジアを中心に、海外においても出資・提携を含む成長戦略を展開し、収益基盤の拡大を図ってまいります。

なお、平成二十年には、グループ傘下銀行において順次新システムへの移行を開始する予定です。移行プロジェクトはスケジュールどおり進んでおり、今後も万全な態勢で計画を進め、安全・確実なシステム統合の実現をめざします。

株主還元策について

MUFGグループでは、株主の皆さまへの利益還元を重要な経営課題と位置づけ、自己資本の一層の充実や戦略的な投資とのバランスをとりながら、配当金額の継続的な増加に努めることを資本政策の基本方針とすることを公表しております。これに加えて、本年十二月から来年三月にかけて千五百億円、一億五千万株を上限とする自社株式（普通株式）の取得を実施することを公表しております。また、来年一月からは、いよいよ株主優待制度のサービスを開始いたします。

こうした株主還元策とあわせ、お客さまへのサービス向上や地域・社会への貢献についても一層積極的に取り組んでまいります。



最後に

グループが発足して三年目に入りました。これまでを振り返りますと、公的資金の完済、三菱UFJニコス、三菱UFJリースの発足や三菱UFJ証券の完全子会社化などグループ総合力の強化、真に実効性のあるコンプライアンス（法令等遵守）態勢の構築など、持続的な成長を可能にする土台づくりに着実に取り組んでまいりました。

今後、さらなる成長に向けて、役職員一同、力をあわせてまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

平成十九年十二月

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
取締役社長

日
柳
信
敏

MUFGレポート

コンシューマーファイナンス事業戦略について

平成十九年九月に、MUFGグループ各社と株式会社ジャックスの四社提携などについて公表しました。提携内容を含めた、MUFGのクレジットカード事業、個品割賦事業に関する戦略をご説明します。

三菱UFJフィナンシャルグループ

三菱東京UFJ銀行・三菱UFJニコス

ジャックスの間の業務・資本提携

三菱UFJニコスの個品割賦事業をジャックスに統合します。これにより、ジャックスは、三菱UFJニコスより営業基盤・ネットワークとともに、事業運営に真に必要な人員・拠点等を承継し、量・質の両面で個品割賦業界において本邦トップクラスとなります。クレジットカード分野では、カード決済の事務処理や加盟店管理などの分野で三菱UFJニコスとジャックスが業務提携し、クレジットカード事業のコスト競争力向上をめざします。

また、三菱東京UFJ銀行は、関係官庁の承認等を前提として、平成十九年度中にジャックスに対する出

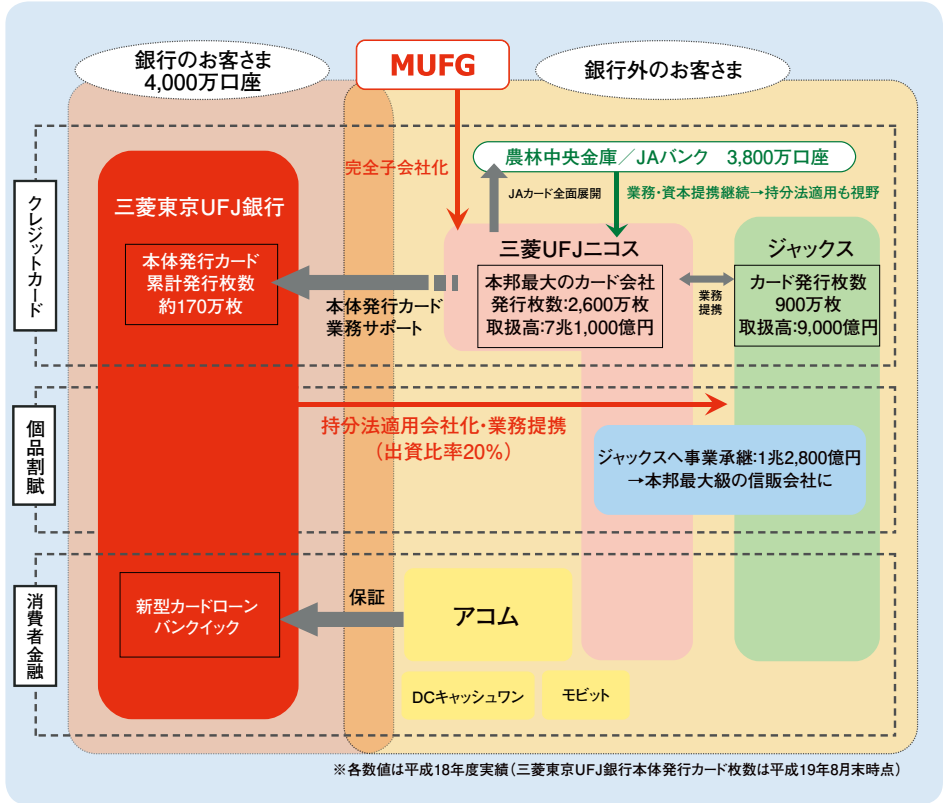
資比率を20%まで引き上げ、持分法適用会社とします。

三菱UFJニコスにおける

飛躍に向けた抜本的対応

三菱UFJニコスでは、今後、飛躍的な成長が見込まれるクレジットカード分野においてMUFGグループの中核を担う企業として、財務基盤を強化し、戦略的投資余力を確保するべく、平成十九年十一月に一千二百億円の第三者割当増資を行い、MUFGが全額を引き受けました。

さらに、持株会社である三菱UFJフィナンシャル・グループは、クレジットカード事業を、銀行、信託、証券と並ぶグループの主要事業領域と位置づけるとともに、グループとしての一体性を高めるべく、平



成二十年八月を目処に、株式交換により三菱UFJニコスを完全子会社化する予定です。

三菱UFJニコスでは、個品割賦事業のジャックスへの承継により、クレジットカード事業への経営資源の集中を図ることで、拠点、人員を大幅に削減する計画です。また、過払利息返還負担等の環境変化に伴う課題を解決し、新たな成長戦略を進めていきます。

なお、三菱UFJフィナンシャル・グループ、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJニコスは、農林中央金庫と三菱UFJニコスの現在の資本提携を維持するとともに、これを機に、業務・資本提携の維持・発展に向けて、三菱UFJニコスを農林中央金庫の持分法適用会社とすることを視野に協議を進めていきます。

MUFGレポート 海外拠点紹介第三回

三菱東京UFJ銀行サンチャゴ支店

世界一の銅生産を誇るチリ。日智経済連携協定（EPA）の発効で、日本との関係はより深くなりました。今回は遠くて近い国、チリをご紹介します。

チリで、百ペソ（チリの硬貨）のお釣りを手渡されたとき、日本人なら「あれっ？」と思うかもしれません。十円玉と同じ色ながら、そのデザインは百円玉を思い起こさせます。しかし、日本の硬貨とのつながりは、それだけではありません。世界一の銅生産国であるチリは、日本にも多くの銅を輸出しており、その一部は硬貨の原料として使われています。私たちが日々買える物ができるのも、チリから来た銅があつてこそ、といえるかもしれません。

チリは、アンデス山脈が連なる東側と、太平洋に面する西側との距離が近く、北側に乾いた砂漠がある一方、南側は一年中氷河に覆われています。日本と同じ南北に細長い地形のため、多種多様な自然環境や風景が楽しめます。

見どころの多いなかから、世界遺産にも登録された



観光スポットをご紹介します。首都サンチャゴから約二〇キロ北西にあるバルパライソは、チリ第一の港町。湾にそって続く平地には、多くの歴史的建築



物が建てられ、町の大半を占める背後の丘陵地帯には、家々が並びます。丘に展開する町並みや港の情緒ある美しい風景を楽しみたいなら、アセンソールで丘に昇ることをお勧めします。ケーブルカーのような傾斜式エレベータから見渡す風景は、観光客にも大人気です。チリを訪れるなら、国中が祭り一色となる、九月十八日の独立記念日はいかがでしょう。民族舞踊クエカが踊られ、国技のロデオが催されます。串焼きパーベキューのアンティクーチョ、肉入りパイのエンバナードなどを食べながら、家族や友人と楽しむのがチリ流。美味しい匂いが漂うなか、陽気な人々にたくさん出会えます。



支店をご紹介します

チリの中心部に位置し、雄大なアンデス山脈が見渡せる首都、サンチャゴ。三菱東京UFJ銀行サンチャゴ支店は、昭和五十六年（一九八一年）に開設されました。チリにとつて、日本は米国に次ぐ輸出市場。銅やモリブデンといった鉱物資源のほか、お馴染みのワインやサケなど食品の輸出も盛んです。現在、チリ国内では、五十社ほどの日系企業が進出しています。

平成一十九年九月に日智経済連携協定（EPA）が発効されたことにより、今後、さらなる貿易拡大が期待されます。三菱東京UFJ銀行サンチャゴ支店は、チリ唯一の邦銀として、幅広いサービスで日系および地元企業のビジネス展開を積極的に支援していきます。

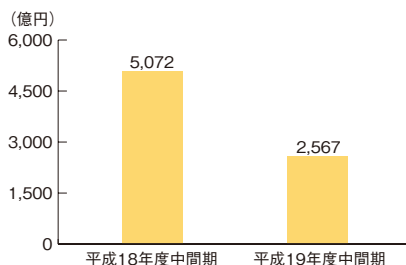
決算のポイント

- 連結中間純利益は、前中間期に「益」を計上した与信関係費用の総額が、2,674億円の「費用」となったことなどを主因に、前中間期比2,505億円減少の2,567億円
- 不良債権比率は、平成18年度末比0.16ポイント低下の1.29%、連結自己資本比率は、同横ばいの12.54%となり、引き続き強固な財務基盤を維持
- サブプライム関連商品への投資に伴う損失は約40億円

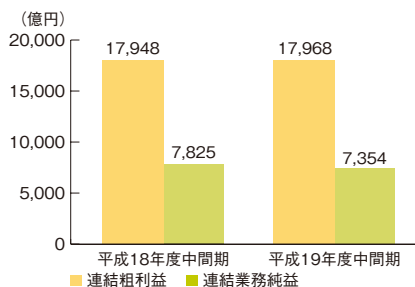
〈損益の状況〉

連結粗利益は、前中間期とほぼ同水準となりましたが、営業費が前中間期比492億円増加した結果、連結業務純益は、同471億円減少の7,354億円となりました。また、前中間期は826億円の「益」であった与信関係費用の総額が、当中間期は2,674億円の「費用」となりました。加えて、子会社の三菱UFJニコスの業務構造改革などに伴う特別損失の計上(596億円)等により、連結中間純利益は、前中間期比2,505億円減少し、2,567億円となりました。

連結中間純利益

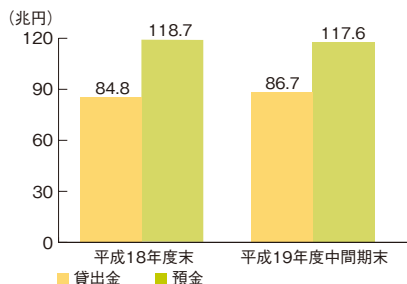


連結粗利益・連結業務純益



(注) 記載の計数は単位未満を切り捨てて表示しています。したがって、本文中の増減計数はグラフ・表中の計数から算定される増減計数とは必ずしも一致しません。

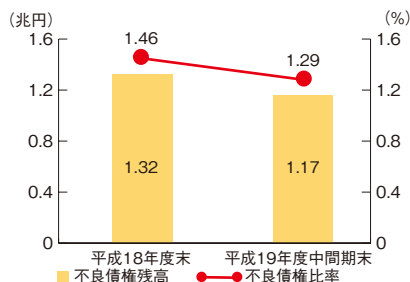
貸出金・預金



〈貸出金・預金の状況〉

貸出金は、海外貸出の増加により、平成18年度末と比べ1.9兆円増加し、86.7兆円となりました。預金は、金利上昇に伴う法人預金の減少などにより平成18年度末と比べ1.0兆円減少し、117.6兆円となりました。

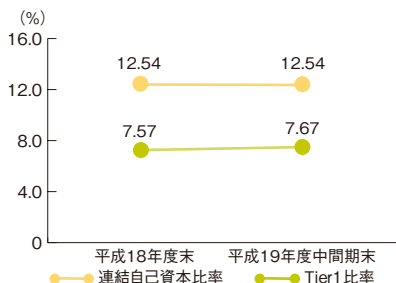
不良債権残高・比率



〈不良債権の状況〉

不良債権比率は、お取引先企業の債務者区分の上方遷移(格上げ)などにより、平成18年度末と比べ0.16ポイント低下し、1.29%となりました。不良債権残高も平成18年度末と比べ1,463億円減少し、1兆1,794億円となりました。

連結自己資本比率



〈連結自己資本比率の状況〉

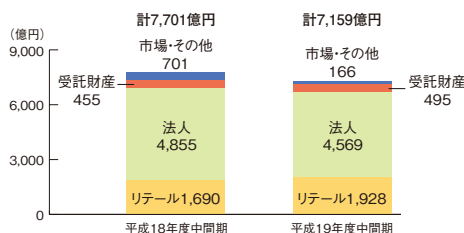
連結自己資本比率は、リスクアセットの増加があったものの、利益による資本蓄積等により、平成18年度末と比べ12.54%となりました。中核的な自己資本の比率を示すTier1比率は同0.10ポイント上昇し、7.67%となりました。

〈部門別営業純益* について〉

平成19年度中間期の営業純益は、前中間期比542億円減少の7,159億円となりました。部門別に見ると、「リテール部門」や「受託財産部門」は、投資信託関連収益の増加などにより、前中間期比増益となりました。一方、「法人部門」は国内貸出の利ざや縮小や投資銀行関連収益の減少などにより、「市場部門・その他」は金利環境の変化などにより、それぞれ前中間期比で減益となりました。

※営業純益…連結業務純益の内部取引消去等の連結調整前の計数（管理ベース、のれん償却前）

〈部門別の営業純益推移〉



〈サブプライム関連商品への投資状況等〉

サブプライム関連商品への投資残高は右表のとおりです。平成19年度中間期におけるサブプライム関連投資に係る損益への影響額は約40億円の損失です。

なお、当社子会社の三菱UFJ証券ではサブプライム関連商品に対する投資は行っていません。また、米国の子銀行ユニオン・バンク・オブ・カリフォルニアではサブプライムローンを取り扱っていません。

	平成19年度中間期末
サブプライムローン 関連投資残高	約2,600億円
評価損益	約△200億円
格付状況	トリプルA格が96%

平成19年度中間期の業績について

(単位：億円)

損益の状況 (連結)	平成18年度中間期	平成19年度中間期
連結業務粗利益 (信託勘定償却前)	17,948	17,968
うち資金利益	9,456	9,667
うち役務取引等利益	5,574	5,471
営業費	10,122	10,614
連結業務純益 (信託勘定償却・一般貸倒引当金繰入前)	7,825	7,354
臨時損益 (△は費用)	△ 1,189	△ 2,359
うち与信関係費用	△ 542	△ 2,655
うち株式等関係損益	137	544
経常利益	6,635	4,975
特別損益 (△は損失)	1,707	△ 478
うち償却債権取立益	787	203
うち貸倒引当金戻入益	1,369	
うち構造改革損失引当金繰入額		△ 596
法人税等十法人税等調整額	2,930	1,934
少数株主利益 (△は損失)	340	△ 4
連結中間純利益	5,072	2,567

与信関係費用総額 (△は費用) <small>(信託勘定償却十一般貸倒引当金繰入額十与信関係費用十貸倒引当金戻入益)</small>	826	△ 2,674
-----------------------------------------------------------------------	-----	---------

資産・負債の状況 (連結)	平成18年度末	平成19年度中間期末
資産の部	1,872,810	1,898,944
うち貸出金	848,319	867,510
うち有価証券	482,076	429,902
負債の部	1,767,573	1,793,199
うち預金	1,187,086	1,176,308
純資産の部	105,237	105,744

連結自己資本比率の状況 (第一基準)	平成18年度末	平成19年度中間期末
自己資本比率	12.54%	12.54%
Tier1 比率	7.57%	7.67%
自己資本	133,444	134,564
Tier1	80,548	82,307
総所要自己資本額	85,116	85,816

リテール部門

銀行窓口ですべての保険の取り扱いが可能に

平成十九年十二月から、銀行で医療保険、定期保険などの保険商品の取り扱いが可能となります。これにより、お客さまはさまざまな保険商品を銀行窓口でもお選びいただくことができますようになります。

三菱東京UFJ銀行では、十二月の規制緩和にあわせ、死亡保険や医療・ガン保険などの保険商品の取り扱いを開始する予定です。保険専門販売員(保険プランナー)

を営業店に配置し、お客さまのご要望にお応えしていきます。

少子高齢化の進展によりお客さまの資産運用や保障に対する関心が高まるなか、三菱東京UFJ銀行では、充実した店舗網と、貯蓄から投資、保障までの幅広い金融商品といった、銀行ならではの強みを活かしたサービスを提供していきます。

平成13年4月	住宅ローンに付随する信用生命保険 (銀行等の子会社等である保険会社の商品に限る) 長期火災保険、債務返済支援保険、海外旅行傷害保険
平成14年10月	個人年金保険、財形保険、年金払積立障害保険、財形傷害保険
平成17年12月	一時払終身保険、一時払養老保険、平準払養老保険(保険期間10年以下)、積立傷害保険、自動車自賠責以外の個人向け損害保険
平成19年12月	すべての保険の取り扱いが可能 医療保険、定期保険、平準払終身保険など

受託財産部門

「責任投資セミナー2007」を開催

三菱UFJ信託銀行では、平成十九年十月に国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP-FI)と共催で、年金基金等の機関投資家や事業法人のお客さまを対象に、「責任投資セミナー2007」を開催しました。当日は、UNEP-FI関係者による基調講演に始まり、「持続可能な地球環境の実現に向けた環境経営」や「社会的責任投資(SRI)での企業のCSR活動の評価」

について、海外の著名調査機関等によるパネルディスカッションのほか、国内外の有識者が講演を行いました。ご来場いただいたお客さまからは「国際的な関心事項であるCSRやSRIの最新動向がわかり、大変役に立った」など、ご好評をいただきました。



法人部門

中小企業向け営業拠点を強化・拡充

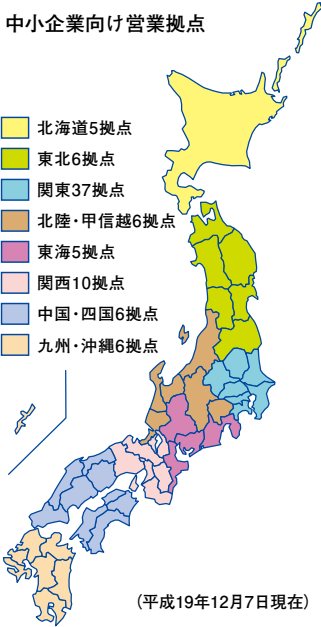
三菱東京UFJ銀行では、地域に密着した身近で頼れる金融機関をめざし、中小企業のお客さま向け営業拠点を強化・拡充しています。

ご融資を中心に中小企業のお客さまを専門に担当する拠点（法人営業推進部、法人営業所、法人営業オフィス）を、北海道から沖縄まで八十拠点展開しています。このうち二十二拠点を「支社」とし、新設一拠点とあわせて、MUFJグループならではの総合サービスをスピーディーに提供しています。

なかでも、九州新幹線の全面開通を控え、またアジア各国への進出企業も多い九州・沖縄地区では、六拠

中小企業向け営業拠点

- 北海道5拠点
- 東北6拠点
- 関東37拠点
- 北陸・甲信越6拠点
- 東海5拠点
- 関西10拠点
- 中国・四国6拠点
- 九州・沖縄6拠点



(平成19年12月7日現在)

M&A アドバイザリーランキング※

順位	アドバイザー	取引件数	取引金額 (百万USドル)
1	野村證券	119	29,120.81
2	大和証券SMBC	94	12,917.42
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	89	14,518.03
4	日興シティグループ証券	68	16,018.75
5	みずほフィナンシャルグループ	56	15,107.56
6	GCA	18	15,766.75

※日本企業がかかる公表案件(平成19年1月1日～9月30日)
出所: トムソンフィナンシャル

点を展開。従来、大阪からサポートしていた、お振込や外為、デリバティブといった本部機能も設置するなど、お客さまのニーズにスピーディーにお応えする体制を整えています。

M&A分野で取引件数第三位

MUFJグループでは、銀行・証券が連携し、企業価値向上に向けたM&A等の事業戦略・資本戦略に関するアドバイスをサポートに積極的に取り組んでいます。

平成十九年一月から九月のM&Aアドバイザー実績は取引件数で第三位、取引金額で第五位。伊勢丹と三越の経営統合でもアドバイザーになるなど、国内金融機関でトップクラスの実績を誇っています。

今後M&Aマーケットの一層の拡大が予想されるなか、国内最大の金融グループとしての総合力、提携先を含む豊富な海外ネットワークを活用し、企業の成長戦略に関して積極的なアドバイザー・サービスを提供していきます。

企業市民として、地域貢献活動を推進します

国内外のさまざまな地域で活動するMUFJグループでは、地域・国際社会の一員としての役割を自覚し、従業員参加型の活動を通じて、主体的に地域貢献活動に取り組んでいます。

MUFJグループでは、地域貢献活動には継続性と主体性が重要だと考え、従業員一人ひとりが豊かな社会とその持続的な発展のためにできることを考え、積極的に実践することを推奨しています。こうした考えのもと、各営業拠点では、地域清掃、店舗前花壇の整備、植樹活動、地域に根ざした教育の支援など、地域とのつながりを大切にした活動を行っています。また、三菱東京UFJ銀行・三菱UFJ信託銀行では、資金面や情報面で、各営業拠点の自主的な地域貢献活動を支援しています。

三菱UFJ信託銀行の営業拠点による 主な地域貢献活動例

大阪法人営業部

御堂筋完成七十周年記念大清掃への参加

高知支店

高知県の「協働の森づくり事業」への参画

九州法人営業部

九州がんセンターでのガーデニングボランティア

北九州支店

北九州大学での金融経済講義出演

宮崎支店

同店でのオルゴールコンサート開催



高知支店



九州法人営業部

三菱東京UFJ銀行の国内拠点による
主な地域貢献活動例

渋谷支店（東京都）

介護・高齢者施設での配食お手伝い、施設の方との交流

三鷹エリア（東京都）

第十二回福祉映画観賞会の開催にあたり、三鷹支店・三鷹支社・三鷹中央支店共同で、当日の設営・鑑賞者の誘導・福祉シヨップの受付・後片付けのお手伝い

藤井寺支店（大阪府）

近隣の小学生の職場体験受け入れ。店内を案内し、業務説明・質疑応答を実施

田辺支店・支社（和歌山県）

「いちいがしの会」の植樹活動に参加。常緑カシ類の苗木を五十本植樹

笹島支店（愛知県）

同店が入居している名鉄バスターミナルビル周辺の清掃活動

柴田支店（愛知県）

「交通事故ゼロの日」の交通安全活動や、学童登下校時の保護活動
夜間パトロール、学区内の美化活動



藤井寺支店



笹島支店



柴田支店

三菱東京UFJ銀行の海外拠点による
主な地域貢献活動例

米州拠点

米州拠点で働く三菱東京UFJ銀行および三菱UFJ信託銀行の従業員が早産予防や妊婦の健康を促進するためのチャリティ・ウォーク「マーチ・オブ・ダイヤモンドス・ウォーク・アメリカ」に参加

デュッセルドルフ支店（ドイツ）

デュッセルドルフ市にて年一回開催される市民清掃活動に参加
シンガポール支店

イーストコーストパークにて海岸清掃活動を実施

ジャカルタ支店

支店近隣の福祉施設との交流を行い、文房具・古着などを寄贈

マニラ支店

メトロマニラおよびその周辺地域の水の供給源である天然貯水池
保護プロジェクトへ参加

天津支店

南開大学日本語学部に「三菱東京UFJ銀行文庫」を設立



デュッセルドルフ支店



マニラ支店

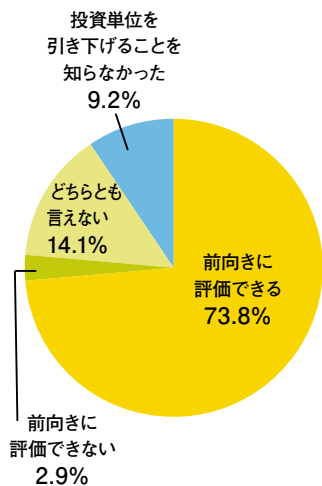


天津支店

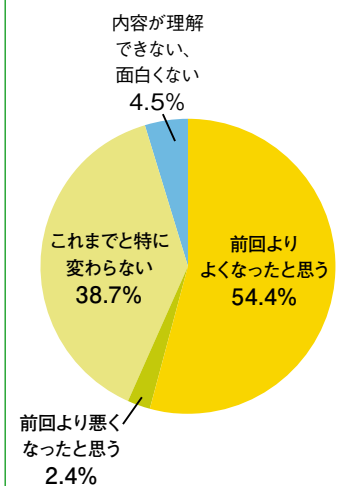
株主アンケート結果のご報告

「株主の皆さまへ 第二期」(平成十九年六月発行)のアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケート結果をご報告するとともに、特に多かったご意見・ご質問についてご紹介いたします。

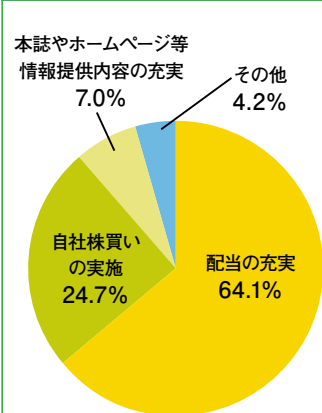
投資単位引き下げに対するご意見



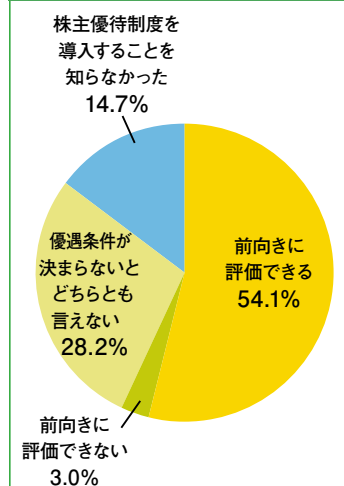
「株主の皆さまへ 第二期」の感想



充実を希望される活動



株主優待制度導入に対するご意見



ご回答いただいた株主の皆さま/回答者数：10,567件(回答率 2.93%)

男性：73% 女性：27%

いただいたご意見・ご質問のなかから

株主優待制度について

「株主優待制度に期待」という声が多数寄せられる一方、「金融サービスではない優待サービスも用意してほしい」などのご意見が寄せられました。

今回ご留意させていただいた優待サービスは、株主の皆さまにMUF Gグループの総合力を実感していただけるよう、グループ会社の商品・サービスが中心となっております。優待サービスに関しては、定期的に見直しを実施してまいりたいと考えていますので、ご理解いただきたくお願いいたします。

コンプライアンス態勢について

「不祥事が多くて残念」「コンプライアンスを徹底してほしい」とのご意見を多数頂戴いたしました。

コンプライアンス(法令等遵守)につきましては、持株会社によるグループ各社に対する経営管理機能の強化を軸とした態勢整備を実施。グループ各社間の情

報共有・問題事例等の対応強化などを目的に設置した「グループCCO(チーフ・コンプライアンス・オフィサー)会議」において、活発な討議が行われています。

また、本年九月に施行された金融商品取引法に関する整備、勉強会の開催等、お客さまに安心してお取り引きいただける態勢を整えています。

自己株式の取得について

アンケートでも「自社株買いの実施を希望する」とのご意見を多数頂戴しておりましたが、十月三十一日に発表したとおり、当社では、平成十九年十二月三日から平成二十年三月二十四日にかけて、上限一億五千万株、一千五百億円の自己株式(普通株式)を取得することを決議しました。これは、株主還元を強化すると同時に、資本効率の向上と経営環境に応じた機動的な資本政策の遂行を目的とするものです。

株主優待制度がスタートします。

・平成19年9月30日時点の当社株主名簿(または実質株主名簿)に、100株以上お持ちと記載された株主の皆さまを対象に、株主優待制度(「MUFG株主倶楽部」)がスタートします。

・対象株主の皆さまには、「優待サービスご利用ガイド」と「株主優待クーポン券※」を同封しています。優待サービスのご利用方法等の詳細は、同ガイドをご参照ください。

※株主優待クーポン券は、優待サービスご利用の際に必要となります。
再発行は受け付けておりませんので、大切に保管願います。

・優待サービスのご利用期間は、平成20年1月4日(金)から同12月30日(火)までの1年間となります。上記期間の前または上記期間を過ぎて優待クーポン券をお持ちいただいてもご利用いただけませんので、ご注意願います。



・株主優待制度の詳細につきましては、当社ホームページでもご紹介していますので、ぜひご覧ください。

URL: <http://www.mufg.jp/investors/programs/>

・万が一、平成19年9月30日時点で当社株式を100株以上お持ちの株主の皆さまで、上記の「優待サービスご利用ガイド」と「株主優待クーポン券」が同封されていない場合は、下記までお問い合わせください。

三菱UFJフィナンシャル・グループ 03(3240)8111(代表)

なお、株式数に関するご照会は、19ページに記載の株主名簿管理人までお問い合わせ願います。

定時株主総会基準日	3月31日
定時株主総会	6月下旬
配当金受領株主確定日	期末配当金3月31日 中間配当金9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞 ただし、決算公告は当社ホームページに掲載 (ホームページアドレス http://www.mufg.jp/)
上場証券取引所	東京、大阪、名古屋、ニューヨークの各証券取引所
株式事務取扱場所・取次所	
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 <お問い合わせ先・郵便物送付先> 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話: 0120-232-711 (通話料無料) (受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店

お知らせ

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求、単元未満株式買増請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のテレホン自動音声応答サービス

0120-244-479 (通話料無料)

で24時間承っておりますので、ご利用ください。

取締役・監査役(平成19年12月1日現在)

取締役会長 (代表取締役)	たまこし 玉越	りょうすけ 良介	取締役	やすだ 安田	しんたろう 新太郎	常勤監査役	まつぎ 松木	はるお 春夫
取締役副会長 (代表取締役)	うえはら 上原	はるや 治也	取締役	あおき 青木	ひろひさ 広久	常勤監査役	やすだ 安田	しょうた 正太
取締役社長 (代表取締役)	くろやなぎ 畔柳	のぶお 信雄	取締役	あきくさ 秋草	ふみゆき 史幸	監査役**	いまい 今井	たけお 健夫
取締役副社長 (代表取締役)	ながやす 永易	かつのり 克典	取締役	ひらの 平野	のぶゆき 信行	監査役**	たかすか 高須賀	つとむ 昴
専務取締役 (代表取締役)	わたなべ 渡辺	よしひろ 喜宏	取締役	ゆうき 結城	たいへい 泰平	監査役**	おかもと 岡本	くにえ 圀衛
専務取締役 (代表取締役)	みずの 水野	としひで 俊秀	取締役*	おおきしま 大木島	いわお 巖			
専務取締役 (代表取締役)	さいとう 斎藤	ひろし 広志	取締役*	はらだ 原田	あきお 明夫			
			取締役*	おおとし 大歳	たくま 卓麻			

* 大木島 巖、原田 明夫、大歳 卓麻の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

** 今井 健夫、高須賀 昴、岡本 圀衛の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

大株主(普通株式 平成19年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	463,922,000	4.27
2 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	411,800,160	3.79
3 ヒーロー・アンド・カンパニー	399,023,000	3.67
4 日本生命保険相互会社	280,011,699	2.57
5 ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	205,719,957	1.89
6 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (明治安田生命保険相互会社・退職給付信託口)	175,000,000	1.61
7 ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505103	155,440,150	1.43
8 トヨタ自動車株式会社	149,263,153	1.37
9 ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン	142,485,912	1.31
10 明治安田生命保険相互会社	138,638,761	1.27
合計	2,521,304,792	23.21
発行済株式総数	10,861,643,790	100.00

(注) 1. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

2. 上記のほか、当社が保有している普通株式の自己株式 374,349,647 株があります。

3. ヒーロー・アンド・カンパニーは、ADR(米国預託証券)発行のため預託された株式の名義人です。

ホームページのご紹介

MUFG のホームページは、株主・投資家の皆さま向けに、最新のニュースリリースや業績のご説明のほか、グループの経営戦略、CSR 活動などを掲載しています。

ホームページアドレス <http://www.mufg.jp/>

MUFG の企業 CM をご紹介しています。

国内外で推進中のプロジェクトをドキュメンタリータッチで映像化。

「明日へ！」という力強い決意とともに、「明日をつくるプロジェクト」をリレーしていきます。



会社紹介ビデオを掲載しています。

MUFG グループの発足から、業務内容、社会貢献活動などを、キャスターの勝恵子さんが紹介しています。



株主の皆さまへアンケートのお願い

当社では、今後とも株主の皆さまとのコミュニケーションをより深めてまいりたいと考えております。つきましては、アンケートを実施させていただきたく、大変お手数ではございますが、以下の質問事項へのご回答をご記入のうえ、ご返送くださいますようお願い申し上げます（はがき部分を切り取ってそのままご投函ください）。また、下記 URL よりアンケートサイトにアクセスしていただき、ご回答いただくこともできます。（誠に勝手ながらアンケートの締め切りを平成 20 年 1 月 31 日着までとさせていただきます）

URL:<https://www.net-research.jp/338756/mufgir>

ミシン目に沿って折り曲げると、そのまま切り取れます

料
金
受
取
人
払
郵
便

郵便はがき

1 3 7 8 6 8 2

403



新東京支店私書箱第29号

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
株主名簿管理人
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 行

差出有効期間
平成 20 年 7 月
31 日まで
切手は不要です。

ミシン目に沿って折り曲げると、そのまま切り取れます



該当する番号を○で囲んでください。

ご年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代	7. 70代以上	
居住都道府県 (お住まい)	1. 北海道	2. 東北	3. 関東	4. 中部	5. 近畿	6. 中国	7. 四国	8. 九州・沖縄
性別	1. 男	2. 女						
ご職業	1. 会社員・公務員	2. 会社役員	3. 自営業	4. 専門職	5. 無職	6. 主婦	7. 学生	8. その他()
ご所有株式数 () 株	当社株式保有期間	1. 1年未満	2. 1年以上2年未満	3. 2年以上5年未満	4. 5年以上			
三菱東京UFJ銀行／三菱UFJ信託銀行のご利用状況								
1. メインバンク(主取引銀行)としてご利用 2. メインバンクではないがご利用 3. お取引なし								

----- ミシン目に沿って折り曲げると、そのまま切り取れます -----

アンケートのお願い (○印をおつけください)

Q1. 本誌についてのご感想をお聞かせください

1. 前回よりよくなったと思う
2. 前回より悪くなったと思う
3. これまでと特に変わらない
4. 内容が理解できない、面白くない

※今後、特に掲載を希望される内容や改善すべき点などについて、ご意見をお聞かせください
()

Q2. 当社では来年 1 月より株主優待制度の初年度優待サービスを開始します (本誌18ページご参照)。株主優待制度に関するご意見をお聞かせください

1. 評価できる
2. 優待サービスに魅力がない
3. 評価できない
4. 関心がない

※その他、株主優待制度に関するご意見等がございましたら、お聞かせください
()

Q3. 今般、当社では自己株式の取得を決定し、公表しました (本誌17ページご参照)。自己株式の取得に関するご意見をお聞かせください

1. 評価できる
2. 自己株式の取得より配当を充実させるべき
3. 自己株式の取得より戦略的な投資等を充実させるべき
4. 自己株式の取得より内部留保の充実力を入れるべき

※その他、ご意見がございましたら、お聞かせください
()

Q4. 当社では皆さまとのコミュニケーション機会の拡大に取り組んでいます。今後、希望される活動がありましたら、お聞かせください (複数回答可)

1. 株主さま向け各種セミナーの開催
2. 株主さま対象の会社見学会等
3. ホームページや本誌の紙面充実等
4. その他 ()

Q5. その他、当社へのご要望等をご自由にお書きください

ミシン目に沿って折り曲げると、そのまま切り取れます

グループメッセージについて

MUFGグループは「Quality for You」を
グループメッセージとして、
お客さまとのさまざまな
コミュニケーションの場で展開していきます。

Quality for You

このメッセージには、
「『質』の高いサービスのご提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして、こうした活動を通じて
地域・社会の発展に貢献していきたい」
という私たちの想いを込めています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1
電話03(3240)8111(代表)
URL:<http://www.mufg.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点がございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
Tel:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)